

# 県 外 派 遣 報 告 書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	平成27年度 第37関東ミニバスケットボール大会	開催地	茨城県ひたちなか市(総合運動公園体育館)、水戸市(青柳運動公園体育館)
報告者名 (所属連盟)	伊東龍一・仲井順・宮島美幸・深澤晋(ミニ連)	派遣期間	H28. 1. 9(土)~11(月)
参加者 (所属都県)	講師 稲葉威(AA)・山田健一(A) ・一色渉(A) 関東ミニ連審判委員長 山野辺智晴 《東京》上杉侑里子(A)副審判委員長 ・廣瀬渉(A)・粟竹裕幸・井澤元花 《千葉》相木康岳審判委員長 ・大網康志・中野準也・高橋浩二 《神奈川》宇田川晶彦審判委員長 ・長井章・前川郁衣・荻原悠太	《埼玉》川津太志審判委員長 ・小泉登・小林恵・山下大志 《山梨》大木祐一審判委員長(審判長 会議のみ)・深澤雅俊審判副委員長 ・萱沼美穂・中田泰邦・佐野正樹 《栃木》伊東龍一審判委員長 ・仲井順・宮島美幸・深澤晋 《群馬》石坂隆審判委員長 ・毛呂裕臣・中島孝博・大津彬子	《茨城》山野辺智晴審判委員長 ・飯島祐紀審判副委員長 ・松宮民夫・鈴木益美・飯島由香 ・田村元克・高瀬建二・小泉和之 ・坂本祐樹・高倉伸一・武藤直美 ・宮内潤・矢島敬吾・吉田郁美 ・根本優・萩谷貴恵・小林大輝

**【審判会議内容】 1. 9(土)17:00~ 於:クリスタルパレス**

1 開会の言葉 茨城県ミニバスケットボール連盟 副審判委員長 飯島祐紀

2 関東ミニバスケットボール連盟審判委員長挨拶 山野辺智晴

**3 講師紹介**

茨城県バスケットボール協会 審判委員長 稲葉威  
茨城県バスケットボール協会 審判副委員長 山田健一  
茨城県バスケットボール協会 指導委員長 一色渉

4 講義 茨城県バスケットボール協会 指導委員長 一色渉

○良い判定をするために大切なこと

- ・メカニックの理解
- ・判定基準
- ・四原則の活用
- ・TOとの協力など
- ※ゲーム中に示すべき判定基準の確立ができていのかどうか
- ・試合の早い段階で判定基準を示すことが大切  
早い段階 ~5分とも言われているが、ゲームで初めて起こったとき
- ・判定基準→そのゲームのスタンダードであり厳しく入ることではない  
判定基準を示すこと…質の悪いものをしっかりと判定、チープなものを吹かない  
どちらのチームにも同じことを同じように判定→公平、公正、一貫性

- ・シリンダーの概念
- ・リーガル・ガーディング・ポジション
- ・スクリーンの位置の占め方
- ・真上の空間の権利

オフense、ディフェンスに同等の権利がある  
ノーマル・バスケットボール・ポジションを外れたものは正当でない  
どこから(始まり)を見ていたかが大切

・判定基準が確立されるとゲームがスムーズになる 公正公平なクリーンなゲームに

5 審判割り当て発表

6 諸連絡

7 閉会

**【感想・県内審判員へ伝達したいこと】**

・平成28年度夏関東スポ少は7月29日(金)~31日(日)に宇都宮市清原体育館で、冬関東ミニは1月7日(土)~9日(月)に鹿沼市フォレストアリーナと宇都宮市ブレックスアリーナで行われる予定です。

・今回の茨城関東大会でマンツーマンコミッショナーの研修も行われました。イリーガルなものに対して黄色の旗で知らせ、改善されない場合には赤旗となります。赤旗が上がった際には、時間が止まったところでベンチテクニカルとなり2ショット、ボールポジションとなるようです。赤旗が上がって時間が経過しピリオド(ゲーム)が終了した場合にもテクニカルの処置を行うということで、ピリオド(ゲーム)が終わった後に2ショットのみを行うという話もありました。黄色の旗を上げずに一発で赤旗テクニカルということも有り得るとのことでした。とにかく、今回のゾーン禁止が何のためなのかをよく考えていただき、各チームでそのようなことの起きないようにしっかりとマンツーマンの指導をしていただけたらと思います。これはあくまでも個人的な見解ですが、ゾーン禁止の流れは育成世代において個々の技術指導をしっかりと行い、世界を見据えての強化につながるものであるはずですが、しかし、今は残念ながらそのような方向に目が向かず、取り締まりをするためのものになっているように思います。将来的に、マンツーマンコミッショナーをおかずに試合ができるようになることが望ましいと思います。

・栃木県で前述の通り夏、冬ともに関東大会が開催されます。夏の関東までには時間は限られていますが、審判全体のレベルアップを図っていきましょう。

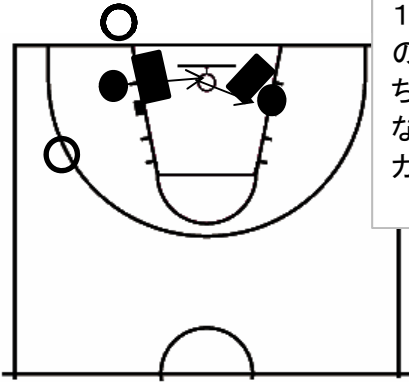
# 県外派遣 審判ミーティング記録表

平成28年1月10日(日)・11日(月)

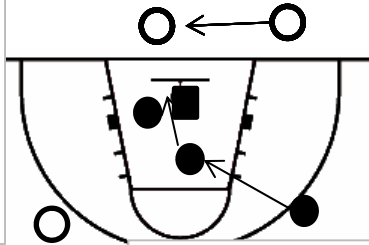
審判員名	伊 東 龍 一	相手審判	①山下大志(埼玉・副) ②大網康志(千葉・副)
------	---------	------	----------------------------

カード	①女子予選リーグ:FFミラクル(東京) 対 敷島南(山梨) ②男子3位リーグ:八千代(茨城) 対 リトルスターズ(東京)
-----	---

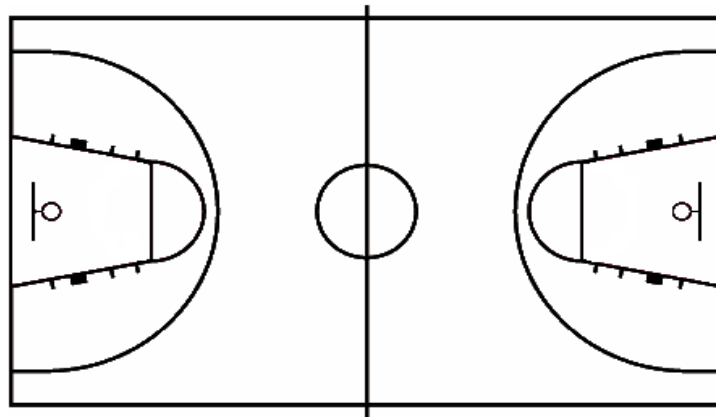
## ◇ ケース・ポジションについて



リード(相手)が右に動いて1on1をとらえたが、ショット後のリバウンドが逆サイドに落ち、リードからはブラインドになってしまった。トレイルからカバーすることができた。



ストロングサイドドライブをきちんとリードで右に動いて受けることができた。



## ◇ ミーティングの内容

### 《①FFミラクル(東京) 対 敷島南(山梨)》

- ・全体を広くとらえ、吹くべきものを取り上げることができた。
- ・リードにおいて、ストロングサイドのドライブをしっかりと受けることができていた。
- ・3Qのゲームの雰囲気が変わったところでもう少し笛を入れて良かったかもしれない。手を出してやめたものに関して取り上げて良いものがあった。

《審判主任》一色 渉(茨城)

### 《②八千代(茨城) 対 リトルスターズ(東京)》

- ・相手審判との協力で事前にカンファレンスをし、相手からブラインドのものをカバーすることができた。
- ・トラベリングの判定でベンチからアピールのあったものがあったが、大きな取りこぼしはなかった。
- ・質の悪いものに関して、しっかりとためであることを示すことができていた。

《審判主任》吉田 郁美(茨城)

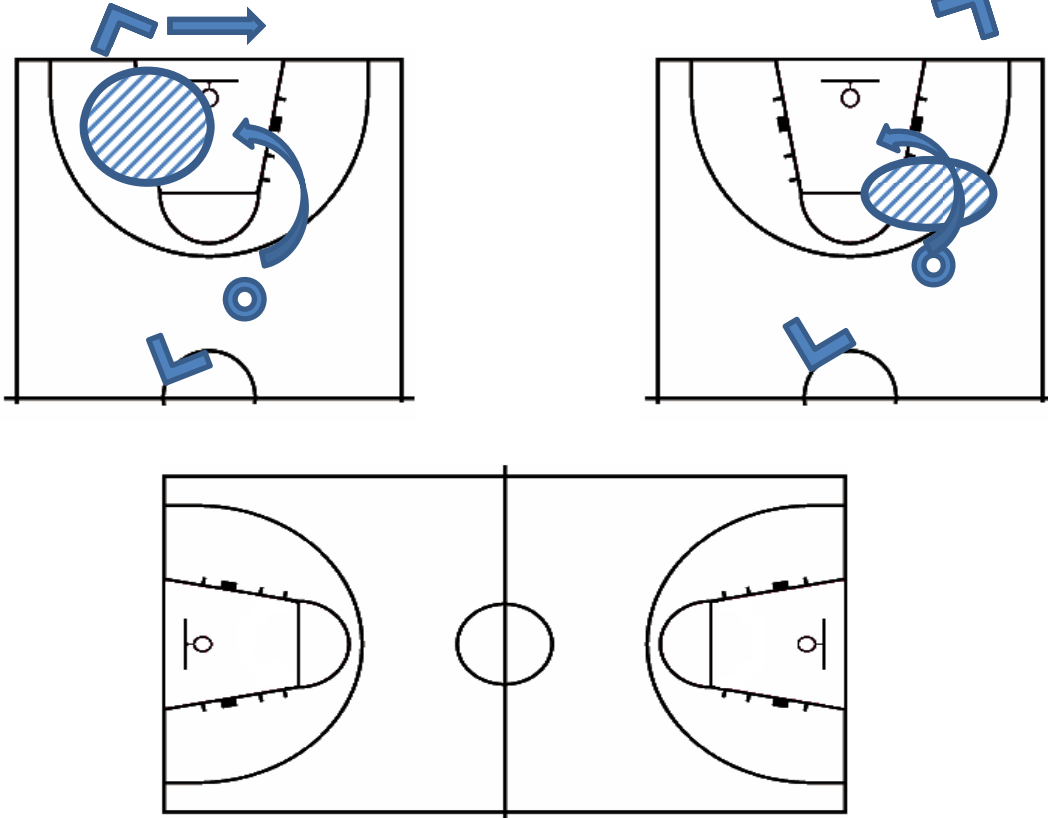
# 県外派遣

# 審判ミーティング記録表

割当日：平成28年1月10日，11日

審判員名	宮島 美幸		相手審判	(主) (副)	荻原 悠太 萱沼 美穂 小林 恵 前川 郁衣	所属	神奈川 山梨 埼玉 神奈川
カード	男子予選 女子予選 男子2位L 女子2位L	高崎北部 松が丘 菅谷東 館林南光	群馬① 茨城③ 茨城② 群馬①	対	八千代 ジュニアファイブ 桐生東 鳩ヶ谷桜	茨城④ 千葉① 群馬② 埼玉②	

### ◇ ケース・ポジションについて



### ◇ ミーティングの内容

・リード：エリア1～3にボールがある時、オフボール(エリア4～5)に視野を絞り込みすぎ。

・男子のプレーに対する予測の立て方が慣れている。

《審判主任》 川津 太志 (埼玉ミニ審判長)

・トラベリングのゼスチャーが独特。もっとかっこよくやりなさい。

・エリア3→4・5でのプレーに対して、相手審判との受け渡しをしっかりと。

《審判主任》 山田 健一 (本部)

・前半に悪いプレーをしっかりと切ったことによって、プレーが整った。

・2人の距離が遠くならないようなペネトレイトを増やしていくように。

《審判主任》 飯島 祐紀 (茨城ミニ審判長)

・動いて見に行く姿勢が見られ、前半に基準を示していた。

・センターがターン時にするステップの確認をしっかりと見定めるように。

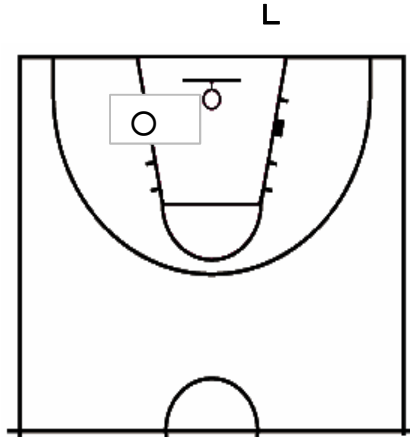
《審判主任》 山野辺 智晴 (本部・関東ミニ審判長)

割当日：平成28年1月10日11日

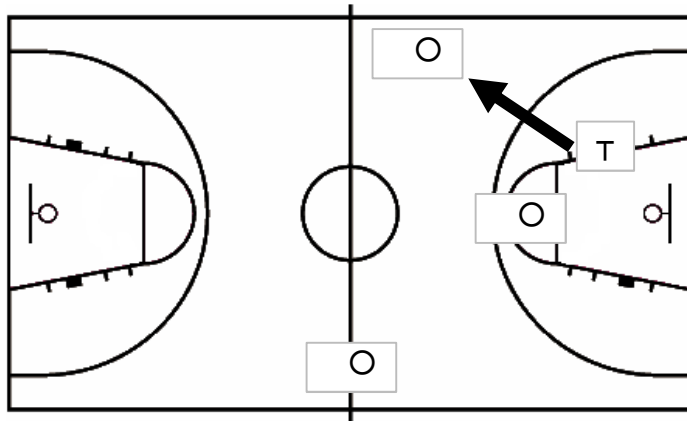
審判員名	仲井 順	相手審判	10日①坂本祐樹(茨城)②大津彬子(群馬) 11日①大網康志(千葉)②毛呂裕臣(群馬)
カード	10日①藤沢本町(神奈川)対リトルスターズ(東京) ②戸塚(神奈川)対大野(茨城) 11日①川上北(埼玉)対桐生神明(群馬) ②真鍋(茨城)対池田(山梨)		

◇ ケース・ポジションについて  
<ケース1>

右で起きた  
ケースを左  
側から笛を  
鳴らした。  
正しい位置  
から判定せ  
ねばならい  
ない。



<ケース2>



プレイへの追従が遅れた。  
危ないと思って行ったときには、遅い。どんなことが起き  
そうか想定しながら、コート  
上を動いていくことが大切で  
ある。

◇ ミーティングの内容

【10日】①トラヴェリングでは、取り上げたものの中で、まだ成立していないものがあった。取り上げ無かったものの中で、取り上げてほしいものがあった。ファウルでは、全体としてしっかり取り上げていたが、ボール運びの中でプレイは続行できてはいたが、ファウルとして笛を入れて良いものもあった。

②ファウルバランスを気にしていたのだとすると、笛を入れなければならないものもあった。<ケース1>ニューリードで反対側のプレイを判定したが、その位置から判定してはいけない。正しい位置から判定できるようにすべきである。<ケース2>ニュートレイルでの追従が遅れて、慌てて追いつき、判定した。ファウルとして取り上げるならば、その前であった。全体的には、落ち着いて判定していたので、これらの点を改善できるとよい。

【11日】①自分の目の前で起きたファウルやトラヴェリング等はどちらかの審判が判定していたと思う。シュートファウルの中で、二度目のファウルで、鳴ったものがある。一度目で判定してほしかった。

④プレイをどこから見て判定するのか、1歩ずれば良かったもの、もう少しペネトレイトしてほしかったもの等が見受けられた。プレイの予測を立て、どの位置まで動けばよいのか工夫を重ねていくとよいと思う。

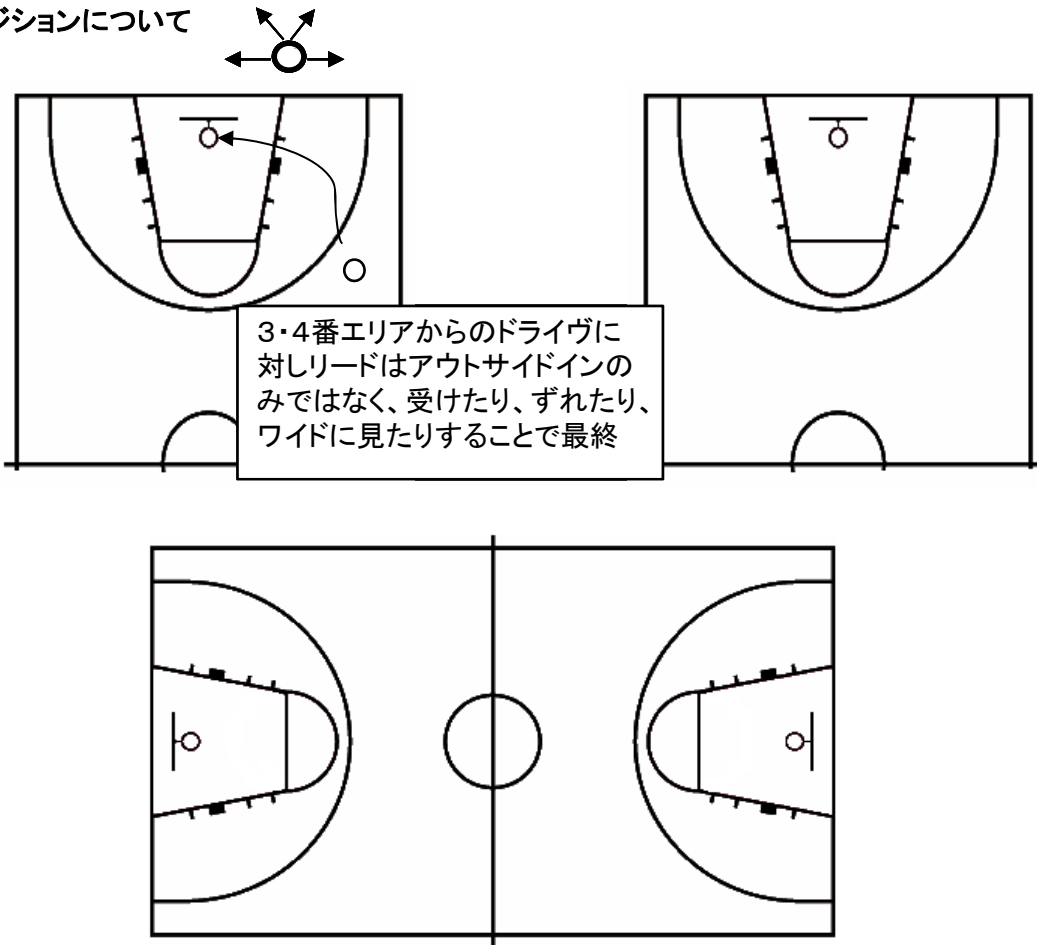
《審判主任》10日①深澤雅俊(山梨)②廣瀬涉(東京)  
11日①宮内潤(茨城)②宇田川晶彦(神奈川)

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成 28年 1月 10日, 11日

<b>審判員名</b>	深澤 晋	<b>相手審判</b>	(主)山田健一(本部、茨城) (主)川津太志(埼玉) (副)荻原悠太(神奈川) (主)相木康岳(千葉)
<b>カード</b>	10日 予選リーグ 館林南光(群馬①) VS 光華(栃木①) 八千代(茨城④) VS 松戸(千葉①) 11日 順位リーグ 朝霞(埼玉①) VS 菅谷東(茨城②) 松ヶ丘(茨城③) VS FFミラクル(東京②)		

◇ ケース・ポジションについて



◇ ミーティングの内容

《予選リーグ 館林南光(群馬①) VS 光華(東京①)》

神奈川関東でペアを組んだときよりも良くなっている。コートでダブルコールがあったが、受け渡しをしっかりと行うことで無駄を減らすことができる。レポートの後など、毅然とした態度でランすると良い。

《予選リーグ 八千代(茨城④) VS 松戸(千葉①)》

相手のエリアであっても、スペースによってはトレイルからの笛を入れる。そのために、相手の位置を確認し、見ている場所を意識したコールが要求される。器具の点検、TOとのコミュニケーションなど参考になった。

《順位リーグ 朝霞(埼玉①) VS 菅谷東(茨城②)》

ゲームスタート時は判定や相手レフリーとの基準に少々波があったが、ゲームが進むにつれて基準がどんどんマッチングしていくのが見られた。エリア3からのドライブ時のリードの動き(受け、ずれ)をさらに工夫すると良い。

《順位リーグ 松ヶ丘(茨城③) VS FFミラクル(東京②)》

全体的に難しくないゲームとなった。リードでの積極的なムーブを継続していくと良い。エリア5での現象の際、ダブルコールを増やせると良い。 《審判主任》石坂隆(群馬) 吉田郁美(茨城) 武藤直美(茨城) 根本 優(茨城)